



第9号

鴻巣西中通信

学校だより

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間1161番地
令和5年1月10日

やけに赤(燃)かった『初日の出2023』～若者たちのエネルギー～

校長 服部幸司

「北京冬季オリンピック」で始まり、「FIFAワールドカップカタール大会」で締めくくられた昨年を継ぎ、2023年1月1日朝、今年も鴻巣西中の屋上から初日の出を拝むことができました。

今年の鴻巣西中学校は、昨年同様、2年生のスキー林間学校(1/15(日)～17(火)長野県菅平高原スキー場)から始まります。1年遅れです。学年主任から延期の話を学年集会で聞き、悔しさで唇を噛んだ日から10ヶ月です。今の3年生同様、1年時よりも、より成熟した集団で、「最高の仲間と挑戦(チャレンジ)する笑顔と絆のストーリー」(2学年スキー林間スローガンより抜粋)を描くに違いありません。



2023.1.1朝 本校屋上からの初日の出

3年生は1/22(日)に私立受験集中日を迎えます。昨年末、3年生の各授業における集中力には目を見張るものがありました。正にこれからが進路決定本番、困難に向かっていくメンタルの強さが試されます。しかし、3年生165名の様子に悲壮感はありません。「受験は団体戦。皆で頑張ろう！」という力強い雰囲気があります。この雰囲気を分析する時、「3年職員の本気の進路指導」はもちろんです。肌で感じるのは、スキー林間学校、修学旅行を始めとする「学校行事の大切さ」です。様々な体験で得た仲間との思い出が生徒一人一人を支えているのだと実感させられます。

「2023年の初日の出」は、やけに赤く、正に燃えているように映りました。自宅から鴻神社横を歩いて西中に車で向かう途中、仲間たちと笑顔で土手方向に向かかって自転車を連ねる若者(大学生?高校生?)の集団をいくつか見ました。間違いなく市内の中学校を卒業した学生たちです。気温-1℃、緑の土手の上からは、昨年、一昨年に増しての人々。聞き覚えのある中学生男子の声も聞こえます。こちらから「明けましておめでとう！」と声を掛けたくありませんが、いつもゲーム三昧で初日の出を皆で拝もうなどという気持ちなどないだろう、と高を括っていた私は、若者たちのエネルギーを目の当たりにし、何とも嬉しい気持ちになり、決意を新たにしました。



ご来光を拝む地域の方々～緑の土手から～